

The background of the slide is a photograph of a hallway. On the left, there is a large blue sign for Tohoku University, featuring a circular emblem with a laurel wreath and the text 'TOHOKU UNIVERSITY'. The hallway extends into the distance, lined with rows of mailboxes on the right wall. The lighting is bright and even.

指定国立大学法人構想の進捗状況 (平成29年度)

平成30年1月30日時点



平成29年度の主な活動計画 - 全体概要 -

構想概要

世界が抱える課題に向き合い、新たな社会・経済システムへ向けた「創造と変革を先導」する指定国立大学法人として、社会から信頼、尊敬、そしてサポートを得られる好循環を実現する一つの大学改革モデルを確立して、「真のワールドクラス大学（世界三十傑大学）」への飛躍を目指す。

人材育成

国際共同大学院を中心とした特色ある学位プログラムの提供

大学経営革新

先進的なアカデミックガバナンスを基盤としたさらなる機能強化

研究力強化

世界トップレベル研究拠点の形成

社会との連携

イノベーションを先導する世界的産学連携研究開発拠点の構築

H29年度の実施 :

「材料科学」「スピントロニクス」「未来型医療」及び「災害科学」の4領域で世界トップレベル研究拠点を整備すべく、拠点長を決定のうえチーム編成し、各種取組を実施する。

H29年度の実施 :

アンダーワンルーフ型産学共創拠点を構築する。



平成29年度の主な活動計画 - 全体概要 -

材料科学

- スピントロニクス領域との合同シンポジウム開催（ノーベル賞級研究者の招聘）
- ベンチマーク校への最新研究動向調査、博士研究員・Ph.D学生の長期派遣
- 実施体制の準備：国際的PI招聘

スピントロニクス

- 材料科学領域との合同シンポジウム開催（ノーベル賞級研究者の招聘）
- 世界トップレベル研究の環境整備：極低温強磁性共鳴システムと磁区観察装置の導入
- 実施体制の準備：若手教員とポスドク採用

未来型医療

- キックオフシンポジウム開催（海外から著名研究者を招聘）
- 米国大学への最新研究動向調査
- 実施体制の準備：「未来型医療創成センター」の設立、若手教員の採用

災害科学

- 世界防災フォーラムでのキックオフシンポジウム開催（海外から著名研究者を招聘）
- 海外連携機関への訪問調査
- 実施体制の準備：災害科学アーカイブシステム・観測装置の増強、若手教員の採用

アンダーワンルーフ型産学共創拠点

- 検討タスク・フォースの設置：国立大学最大規模のアンダー・ワン・ルーフ型産学連携拠点を構築するための戦略的かつ効果的な対応を検討
- 青葉山新キャンパスの地下鉄駅周辺に産学連携組織群を集約・移転
- 産学連携機能を強化するため、学内の多様な産学連携組織の機能を集約するなど抜本的業務改革の推進



平成29年度の主な活動報告① - 拠点シンポジウムの概要 -

拠点	名称、日時、会場	参加機関等
未来型医療	<p>【名称】 未来型医療拠点キックオフ 第二回カロリンスカ研究所・東北大学合同会議 Biobank and Biochemistry</p> <p>【日時】 平成29年10月2日(月)～4日(水)</p> <p>【会場】 東北大学医学部6号館講堂、星陵オーディトリウム</p>	カロリンスカ研究所、国立陽明大学、台湾バイオバンク、細胞分子放射線生物学研究所、慶応義塾大学
災害科学	<p>【名称】 災害科学キックオフ会議 災害科学の学際研究の推進と国際社会への貢献― 指定国立大学法人の指定を受けて</p> <p>【日時】 平成29年11月27日(月)</p> <p>【会場】 仙台国際センター</p>	APRU（環太平洋大学協会）、APEC（アジア太平洋経済協力）、IFRC（国際赤十字赤新月社連盟）、UNISDR（国連国際防災戦略事務局）、ロンドン大学、インドネシア大学
材料科学・スピントロニクス	<p>【名称】 指定国立大学世界トップレベル拠点形成キックオフシンポジウム</p> <p>【日時】 平成30年2月18日(日)～20日(火)</p> <p>【会場】 仙台国際センター</p>	イスラエル工科大学、シカゴ大学、スイス連邦工科大学ローザンヌ校、NDFEB(株)、ルネサスエレクトロニクス(株)、パデュー大学、デルフト工科大学、イリノイ工科大学、マサチューセッツ大学アマースト校、マサチューセッツ工科大学、ポーランド科学アカデミー、東京大学、チェコ科学アカデミー、テキサスA & M大学



平成29年度の主な活動報告② 未来型医療シンポジウム

- 2017年10月2-4日、未来型医療拠点キックオフ 第二回カロリンスカ研究所・東北大学合同会議(2nd Karolinska-Tohoku Joint Symposium on Medical Sciences) Biobank and Biochemistryが東北大学東北メディカル・メガバンク機構、東北大学病院、カロリンスカ研究所の共催で開催
- 2017年度に指定国立大学法人に指定された東北大学は、「未来型医療」の領域における世界トップレベル研究拠点の形成を目指しており、今回のシンポジウムはそのキックオフと位置づけ



講演するカロリンスカ研究所Mark Diversバイオバンク長



最終日の会場にて、主要参加者

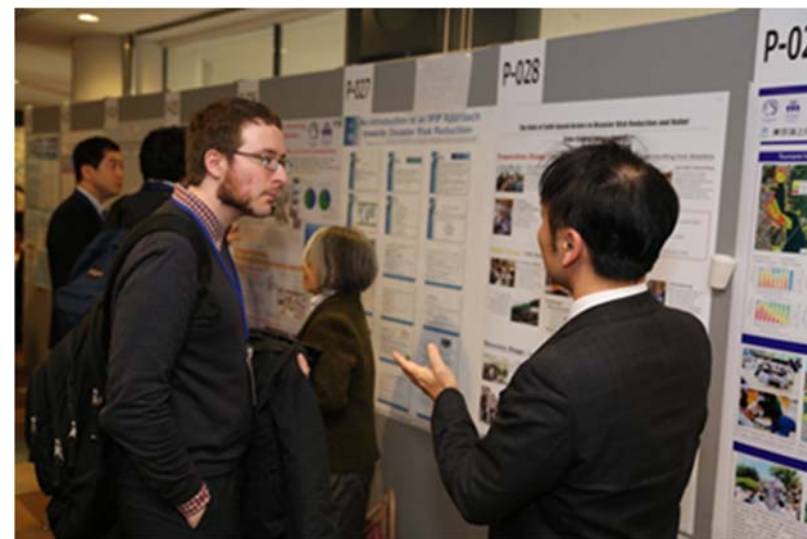


平成29年度の主な活動報告③ 災害科学シンポジウム

- 2017年11月27日、仙台国際センターで開催された「世界防災フォーラム」(2017年11月25-28日)の1プログラムとして、世界トップレベル研究拠点災害科学キックオフシンポジウム「災害科学の学際研究の推進と国際社会への貢献」を、災害科学国際研究所が環太平洋大学協会(APRU)と連携して開催。
- 拠点の新しいロゴが披露され、続くパネルディスカッションでは、各機関の有識者が議論を交わし、異なるステークホルダー間での連携や災害に強い社会構築への期待が寄せられた。学内外より約170名が参加。



キックオフシンポジウムの様子



ポスター発表の様子



平成29年度の主な活動報告④ 学内設置タスクフォースの概要

タスクフォース名	学内設置タスクフォースの活動内容等
若手研究者のための研究環境改善に関する計画策定タスクフォース	優れた若手研究者が安定かつ自立して研究できる環境の創出を目的とした「若手研究者のための研究環境改善に関する計画」を策定する。
アンダー・ワン・ループ型産学共創拠点の構築検討タスク・フォース	産学連携機能を強化するための取組として、複数キャンパスに分散している産学連携組織群を集約した国立大学最大規模のアンダー・ワン・ループ型産学共創拠点の構築について検討を行う。
博士課程後期学生を対象とした経済支援制度検討タスク・フォース	優秀な博士課程後期学生の確保と人材育成を目的とした、新たな本学独自の経済支援制度について検討を行う。
指定国立大学法人構想における取組の実現に向けた進捗管理のあり方等検討タスク・フォース	指定国立大学法人としての責務を果たすべく、構想調書における各取組の実現に向けて、現在の本学の課題・弱み等を再整理・認識し、取組の徹底した進捗管理のあり方について検討を行う。